

問一 にあてはまる語句を考えて答えなさい。

問二 — 線部1「まずは荒く削った石を相手の頭の中に置いて、徐々に細かく成形していく」とありますが、これはどのようなことをたとえているのですか、答えなさい。

問三 — 線部2「大まかなカテゴリーを示す」とありますが、次の1〜3の言葉がふくまれる「カテゴリー」として適当でないものをそれぞれア〜エから一つ選び、記号で答えなさい。

- | | | | | | | | | | |
|---|----|-----|----|---|----|---|----|---|----|
| 1 | 神戸 | (ア) | 近畿 | イ | 兵庫 | ウ | 都市 | エ | 灘区 |
| 2 | 国語 | (ア) | 言語 | イ | 教科 | ウ | 詩歌 | エ | 教育 |
| 3 | 柔道 | (ア) | 競技 | イ | 規則 | ウ | 伝統 | エ | 文化 |

問四 — 線部3「大まかなカテゴリーを述べるのは、ときに工夫を必要とします」とありますが、どのような場合に工夫が必要なのですか。問題文中の言葉を使って、二つあげなさい。

問五 — 線部4「辞書や百科事典の中には、違和感があります」とありますが、筆者が違和感を覚えるのはなぜだと考えられますか。「しりとり」とくらべて、理由を答えなさい。

問六 問題文の内容を参考に、「野球」「スーパーマーケット」「自転車」の中から一つ選び、それについて知らない人に対して説明しなさい。

二次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。

妊娠中、私はいろんな人に席を譲ってもらった。

覚えているのは、席を譲ってもらった最初の経験をした時だ。

まだ妊娠初期か中期のはじめの頃で、私のお腹も全然目立っていなかったはずだ。「マタニティマーク」もつけていなかった。体もまだ重くなく、電車に乗車した私は特に何も考えずに、優先座席ではないほうの座席の前に立ち、つり革をつかんだ。

少しすると、前に座っていたシヨートカットの白髪の女性が、

「席、替わりましょうか。」

と私をまっすぐ見上げて言った。

「あ、大丈夫です。」

反射的にコトワると、彼女はうなずいて視線を元に戻した。私は、なぜわかつたんだろうと動揺し、女性の隣に座っていた二人の女子高校生たちも、え、この人？ と、一瞬おしゃべりをやめ、怪訝そうな表情でこちちを見たくらいだった。彼女には何かの「プロ」を感じたが、なんだかよくわからない。

その後も体が大丈夫な間は、優先座席じゃないほうに座ったり立ったりしていたのだが、お腹が大きくなっていくうちに、席を譲られる回数が増えていったので、申し訳なくなり、優先座席に向かうようになった。

そうして気づいたのだが、優先座席があんまり空いていないのである。

私自身もかつて優先座席に座っていて、注意されたことがある。イヤフォンで音楽を聴きながら下を向いていたので、いつの間にか電車が混んできていることと、近くにお腹の大きい女性が立っていることに気づかなかつたのだ。私の前に立っていた年配の女性が、私の肩を軽く叩いて教えてくれたので、慌てて席を譲った(ただその女性はこちちをにらみつけていたので、それはそれでよかった)。それからは優先座席にはできるだけ座らないようにしていたけれど、その頃の私は、妊婦であることがどれだけしんどいこともわかっていなかったし、他にもいる優先座席を必要とする人たちへの配慮も十分ではなかったように思う。

優先座席が空いていない。これは自分が妊婦になる前から、先に出産をした人たちから聞いていたことだった。優先座席が空いておらず、フキンに立っただけでも、座っているサラリーマンの男性に無視をされたり、眠っているふりをされたりすると。

友人の一人は数年前、そういうことや、妊娠中に席を譲ってくれたのが女性か外国の男性ばかりだったことを、新聞に投書した。

掲載されたのだが、すると次の週に、この投書を読んだほかの女性からの、「私も妊娠中は席を譲ってもらえづらいこともあったが、夫も仕事で疲れきっているので、行き帰りの電車の中では少しぐらい休んでほしい。」という旨の意見が掲載され、友人のコメントが「中和」されるかたちになった。

この時思ったのは、優先座席を必要としている人に席を譲れないくらい疲弊してしまうのが「普通」の仕事ならば、それはやはりそれを「普通」にしている社会コウゾウがおかしいだろうということだ。あと、根本的な問題は他に明白にあるのに、女性からの反論を掲載することで、そこから視線をそらすように、「女性間の意見の対立」のような陳腐な構図に落とし込んで済ませた新聞社もどうかと思った。

妊娠中にはじめて気づいたのだが、電車の乗り降りの時間も短すぎる。

妊娠後期にさしかかる頃、一般的な帰宅時間の、わりと混んでいる電車に乗っていたら、降りる際に後ろにいた男性に背中をぐいぐいと強い力で押された。

彼は私が妊婦だと気づいていなかったかもしれないが、それは本来、妊婦じゃなくてもやってはいけないことだし、そうしないと無事に降りられないかもしれないと人を焦らせる電車の「設定」、ひいてはそうしないと仕事や生活が円滑に回らないとする社会の「設定」がおかしいんじゃないだろうか。余りが無い。ギリギリすぎる。

妊娠中はそう感じているながらも、今となると、混んだ電車から降りる際に私もやっぱり焦ってしまつて、周囲の人に体が当たったり、とつさに当ててしまつたりすることもある。そして、降車後に「エッジ」を辿りながら、少しの間自己嫌悪に襲われたりする。

席が必要な人が来たから立つから、それまでは座つていてもいいじゃないかという意見も、優先座席が空いていない問題が話題になるたびに目にするのだが、めっちゃくちゃ空いている電車ならそれでもいいのだけど、そうじゃない場合は、やっぱり空けておいたほうがいいように思う。なぜなら、その人の「不調」を見分けることができない場合もあるし、やはりはじめから席が空いていないと、諦めてしまう人も多いはずだ。妊娠中、私は一度だけ、これはマジでやばいで、と啞然とした経験がある。

私の利用している路線は「」的な路線というか、ツウキン電車として「本気」の路線まで乗客を連れていくぐらいの役割で、ラッシュ時でもない限り混むことはない。

もう立っているだけでしんどいレベルでお腹が大きくまん丸の頃、その路線の大きな駅で用事を済ませ、十八時頃に電車に乗り込むと、席はすべて埋まつていて、立っている人がちらほらいるぐらいの混み具合だった。

四人がけの優先座席には、高齢者のほか、私と同じ駅で乗車したサラリーマンの男性と、男子高校生が座つていたのだが、風船みたいな状況の私が前に立つと、サラリーマンは早速目を閉じて寝たふりをはじめ、足を前にだらしく投げ出した男子高校生はゲーム機から目を離さない。

惚れ惚れするほどの妊婦ガン無視ぶりに、これがかの！と合点があったと同時に、私は妊娠中怒りの沸点に達するのがめっちゃくちゃ速かつたので、「なにが『妊婦様』だよ、この図を見てみや」と復讐のスイッチが入り、とりあえずこの世に証拠を残したいとスマートフォンで写真を撮つたのだが、そうやって私がキラキラしていると、

「ここ座つて、ここに座つて。」

と後ろから声がした。

優先座席の向かいの座席に座つていた年配の女性が席を立ち、私の肩に手を添えるようにして、彼女が座つていた席に誘おうとしてくれた。「あ、大丈夫です。」

とまた反射的に口にする、

「いいから、いいから。」

と彼女は私を席に座らせた。

目の前でそんな出来事が繰り返されたのに、件のサラリーマンと男子高校生は自分には関係ない体を貫いていて、寝たふりをしたサラリーマンには少なくともジカクはありそうだったが、男子高校生にイタつては、本当に自分に関係ないと思つていそうだった。これで別にいいことになつていることが、何よりネットワークの断線を証明しているように感じた。

自己セキニン、なんて言葉がいつからか幅を利かせているように、現状、何においても当事者や周囲の人だけがその大変さや不便さを知つていて、それを社会全体としては気になんかなくても別にいい、社会の「普通」についてこれない者は弾いていい、とでもいうような態度が「普通」になつていっている。というか、それを「普通」にしようとしてきた。

大変さを知っている人たちだけがそれぞれのネットワークを形成して、子どもが生まれてからは、そのネットワークに触れられるキカイが増えている。でも、本来、そのネットワークを社会全体で共有できたら、どれだけみんな安心できるだろう。

少子化、少子化と問題視するけれど、その前に散々断線させまくってきた社会のネットワークを、政治が根本的な部分からなんとかせんとどうにもならんのではないかと、生活していると、しみじみ思えてくる。

(松田青子『自分で名付ける』による)

問一 線部 a ~ i のカタカナを漢字に直しなさい。

問二 線部 1 「友人のコメントが『中和』されるかたちになった」とありますが、「友人」と「ほかの女性」の投書とともに新聞に掲載されたことについて次の A・B に答えなさい。

A 「友人のコメントが『中和』される」とはどういうことですか、答えなさい。

B 筆者はこの新聞社の掲載の方針をどのようにとらえていますか。問題文中の言葉を用いて、解答らんに合うように答えなさい。

問三 線部 2 「余りが無い。ギリギリすぎる」とありますが、筆者は何をどのようにとらえていますか。問題文中の言葉を用いて具体的に答えなさい。

問四 問題文中の にはどのような言葉があたりますか。最も適当なものを次のア～オから選び、記号で答えなさい。

ア 危機 イ 消極 ウ 典型 エ 戦略 オ 牧歌

問五 — 線部3「なにが『妊婦様』だよ、この図を見てみろや」とありますが、この言葉で筆者はどのようなことを伝えようとしていますか。そのことを説明した次の文の **A**・**B** にあてはまる言葉を答えなさい。ただし、**B** は問題文中より二十字以内でぬき出して答えなさい。

A というイメージが一部に存在していることを前提にして、電車内で筆者が遭遇した **B** は、そういったイメージとかけ離れていることを伝えようとしている。

問六 — 線部4とありますが、「社会のネットワーク」が「断線」しているとはどのような状況ですか。五十字以内で答えなさい。

三 次のA・Bは、二〇二三年からパレスチナで起きていることをきっかけに書かれた詩です。これを読んで、後の問いに答えなさい。

A おうちつてなに? ムスアブ・アブトーハー 山口勲訳

おうちつていうのはね…:

それは通学路に立つ木立がつくる日陰 根っこから木をぬかれる前のこと。

それはおじいちゃんおばあちゃんの結婚式の白黒写真 壁が粉々にされる前のこと。

それはおじさんがお祈りにつかう敷物、冬の夜は何十匹ものアリがその下で休んでいたんだ 盗まれて博物館に入られる前のこと。

それはかまど、おかあさんがパンを焼き鶏肉を焼いていたんだ 爆弾が家をがれきにする前のこと。

¹それはカフェ、サッカーの試合を見たり遊ん——
息子が止める。たった三文字の言葉ひとつでいま言ったこと
とぜんぶ受け止められるの?

B おなまえ かいて ゼイナ・アツザーム 原口昇平訳

あしに おなまえかいて、ママ
くろいゆせいの マーカーペンで
ぬれても にじまず
ねつでも とけない
インクでね

あしに おなまえかいて、ママ
ふといせんで はつきりね
ママおとくいの はなもじにして
そしたら ねるまえ
ママのじをみて おちつけるでしょ

あしに おなまえかいて、ママ
きょうだいたちの あしにもね
そしたらみんな いっしょでしょ
そしたらみんな あたしたち
ママのこだつて わかつてもらえる

²あしに おなまえかいて、ママ
ママのあしにも
ママのとパパの おなまえかいて
そしたらみんな あたしたち
かぞくだったつて ³おもいだしてもらえる

あしに おなまえかいて、ママ
すうじはぜつたい かかないで
うまれたひや じゅうしよなんて いい
あたしはばんごうになりたくない
⁴あたし かずじゃない おなまえがあるの

あしに おなまえかいて、ママ
ばくだんが うちに おちてきて
たてものがくずれて からだじゅう ほねがくだけでも
⁵あたしたちのこと あしがしようげんしてくれる
にげばなんて どこにもなかったつて

ガザでは、自分や子どもが殺されても身元がわかるよう、子の名前をその足に書くことにした親もいる。——二〇二三年十月二十二日 CNN報道

問一 Aの詩の「それは〜」で始まる部分は、それぞれ「おうち」について説明したものです。この部分の説明として最も適当なものを次のア〜オから選び、記号で答えなさい。

ア かつての近代化される前の古臭い生活の終わりを描き、戦争後に始まるはずの近代的な生活に夢をはせている。

イ 戦争前の日常の幸福を身近な存在を通して描くと同時に、戦争によって破壊が進んでいく様子が描かれている。

ウ 敵の日常を具体的に描き、それらをひとつひとついねいに破壊していく味方の軍隊の戦い方をたたえている。

エ 亡くなった人びとの思い出をたどりつつ、それが戦争によって思い出となつていったさまをなつかしんでいる。

オ 身近だった愛する人びとや生活が、戦争によって全て失われたことをはげしいかりをこめてうたったえている。

問二 — 線部1「息子が止める」とありますが、息子はなぜ止めたのですか。理由を答えなさい。

問三 — 線部2「ママのあしにも／ママのとパパの おなまえかいて」とありますが、この時の家族の状況はどのようなものですか、答えなさい。

問四 — 線部3とありますが、どのような人が「おもいだ」のですか、答えなさい。

問五 — 線部4「あたし かずじゃない おなまえがあるの」に込められている思いはどのようなものですか、答えなさい。

問六 — 線部5「あたしたちのこと あしがしようげんしてくれ」とはどういうことですか、答えなさい。

